

議員研修



スクールソーシャルワーカーに聞く 学校における子どもたちの現状は？

総務文教常任委員会の企画で平成26年11月17日に本市のスクールソーシャルワーカーとしてご活躍の濱とおこ先生をお招きし「学校における子どもたちの現状」についてお話を伺いました。スクールソーシャルワーカーとは、先生方との協働により子どもたちの権利擁護や子どもたちが抱えている問題の改善のため児童・生徒をサポートする仕事です。

濱先生からは、スクールソーシャルワーカーの活動内容について説明を受け、不登校、遅刻、欠席、学力不振、友人トラブルなどで「学校が困っている子」とは「子どもたち本人が困っている子」であることや、カウンセリングで精神安定を図り、問題の理解と早期相談への意識改革を進めるなど、課題の改善に向けて努力されている現場の状況なども伺いました。

今回、スクールソーシャルワーカーの活動内容、子ども達の現状などについて、あらためて自分達が理解してい

る以上に子どもたちの抱える問題が刻々と深刻化していることに驚かされ、またソーシャルワーカーの大切さを再認識させて頂きました。

スクールソーシャルワーカーの認知度はまだ低いように感じますが、その必要性は確実に高くなっています。本市では平成20年度からスクールソーシャルワーカーを一人配置し、平成25年度からは二人体制となりましたが、今後多様化するニーズに細やかな対応を行っていくうえで、現在の職務体制を見直す時期が迫ってきていることを強く感じました。

今後このような研修を通して様々な現場の状況把握に努めて参ります。



議員研修会の風景

議員提案による決議を可決

12月議会で左記の「暴力団排除に関する決議」を全会一致で可決しました。

市民の安全で平穏な生活を確保するため、議会の意思を明確に示したものです。

暴力団排除に関する決議

本年9月から10月にかけて、北九州市に本拠を置く指定暴力団の最高幹部らを含む多数の主要幹部らが組織的殺人事件等で逮捕、起訴された。

今回の最高幹部らの逮捕、起訴は、暴力団壊滅に向けた気運を一気に高め、市民の願いである安全で安心な社会を実現するための確かな一歩となるものである。

しかしながら、県内には依然として、全国最多となる5つの指定暴力団が存在しており、県警察による更なる暴力団の取締りの推進に加え、県民一丸となった暴力団排除の取り組みが望まれるところである。

よって、小郡市議会は、あらゆる暴力団排除活動を全面的に支援することをここに宣言する。

以上、決議する。

平成26年12月19日

福岡県小郡市議会